

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや



SNS 随時更新中!

ホームページはこちらから→

<http://www.tsukimoto.info>レポート  
【第 58 号】

## 中小企業のESG投融资とSDGs経営

～人にやさしい中小企業の持続可能な経営をサポート～

### ✓ ESG投融资とは？

SDGs（持続可能な開発目標）については、様々な場面で目にして、少しずつ理解が深まっているところかと思われませんが、ESGって何？と聞かれることがよくあります。ESG投融资とは、環境（E：Environment）、社会（S：Social）、企業統治（G：Governance）の要素を考慮した企業への投融资を行うというもので、経営状況以外の視点を考慮した投融资になります。

企業だけでなく、川崎市自体がESG投融资の対象になっており、脱炭素戦略の取組の一環として、令和3年度より市債の一部で政令指定都市初のグリーンボンド（環境分野に特化した資金調達のために発行される債券）を発行しています。

全投資額に占めるESG投資の割合は近年伸びており、2020年で我が国では全投資額の24.3%を占めていると言われていますが、投資規模で考えると大企業の占める割合が高いため、中小企業ではESG投融资に向けての資金調達の手続きを含め、なかなか手を出せていない状況にあると推察されます。

そこで、川崎市は令和4年度新規予算として、中小企業のESG投融资とSDGs経営に関する事業予算を計上しました。

### ✓ 川崎市のグリーンボンドの今後の見通しは？

令和3年度、川崎市のグリーンボンドによる資金調達は50億円、令和4年度で100億円の予定です。しかし、資金調達の対象事業は、本庁舎等建替事業、橘処理センター整備事業、五反田川放水路整備事業、環境配慮技術導入事業費に充てられる予定で、令和5年度以降の見通しは右図の通りで発行予定額が急に縮小する可能性があります。

市債発行は、インフラや施設整備に充てられるいわゆる「建設債」に限られます。また、川崎市は格付け機関による格付けを取ったグリーンボンドとしているため、対象事業が限定的になってしまう可能性があります。しかし、国内の全投資額のおよそ

4分の1がESG投融资で占められている昨今、同程度以上の調達割合を目指していくべきと考えます。

ESG投融资には、環境分野に力を入れるグリーンボンドと、社会課題解決プロジェクトに充てられるソーシャルボンドがあり、今回は検討されていないソーシャルボンドについても建設債の範囲における活用の検討を提案しました。

#### ESG債対象事業の市債発行見込みについて(収支フレームより)

	R4予算	R5見込	R6見込
本庁舎等建替事業	319	8	3
橘処理センター整備事業	161	要調整	
五反田川放水路整備事業	6	要調整	
環境配慮技術導入事業費	4	4	4
<b>ESG債対象事業計</b>	<b>489</b>	<b>12</b>	<b>7</b>
ESG債発行予定額	100		
市債発行予定額	861	636	578

(単位：億円)

※個々の数字は四捨五入処理のため、合計額に差があり。

### ✓中小企業の ESG 投融資

令和 4 年度予算で新規事業として始まった中小企業への ESG ファイナンス促進事業は、2 年間で 2 社程度を対象としたモデル事業を実施するものです。ESG の考えをもって経営にあたることで企業価値を示し、次の時代にも求められる持続可能な企業に成長するための投融資促進事業です。

今回は川崎市がシンクタンクに委託する ESG ファイナンス促進事業ですが、モデル事業に加え、地域の金融機関や専門家による「(仮称) ESG 投融資研究会」を開催し、この事業が終わる 2 年後には ESG 投融資が一般的になっているまちを目指します。

### ✓SDGs 経営普及・啓発事業

SDGs という言葉は一般化していますが、ESG 投融資が一般化していないのと同様に、SDGs 経営は、その根本である「持続可能」という考え方とは裏腹に、「手間」「面倒」という意識が存在します。また、SDGs 経営という言葉だけが先行し、自社で進める事業に SDGs の 17 個のゴールをそれぞれ貼るだけの、いわゆる「ラベル貼り」に留まっている企業団体も少なくはないのでしょうか。自社の事業に SDGs のゴールとの関連性を洗い出すという作業は悪くはないのですが、「ラベル貼り」だけなら、その手間がただ増えただけで終わってしまいます。

企業や団体が進める事業が社会課題の解決に結びつけられるかを、それぞれの事業で目標を設定し、ゴールへの到達に課題がある場合はその事業を見直していくことが必要です。

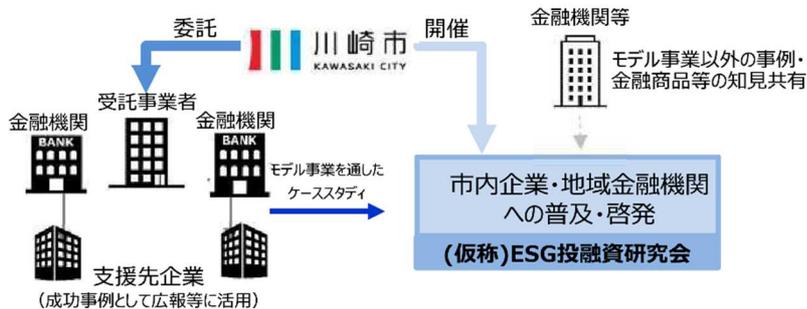
元々設定していた目標が SDGs のゴールに合致していればそれに越したことはありませんが、より多くのゴールを目指す、あるいはより早期にゴールに到達させていくために、既存の事業も時には修正していく、柔軟かつ機動的で前向きな経営が評価されていくこととなります。

私自身、中小企業経営者の家庭で育ちました。企業規模に関わらず共通して行わなければいけない事務は多々あり、大企業であれば、総務部と経理部と営業事務が分かれているところを、中小企業では、一人や二人で横断的な事務を行います。そこに SDGs の事務が増えるのではなく、従業員一人一人が意識をもっていくことが大切です。私は、中小企業の SDGs 経営の促進に向け、業種や企業規模に合わせてどのように進めて行くかを、市が現場目線で研究し、実践できる体制づくりを目指して行きます。

【出典：川崎市資料】

### ESGファイナンス促進事業

- ① 環境(Environment)社会(Social)ガバナンス(Governance)を考慮した経営を市内中小企業等に促すことを目的に、地域金融機関等と連携し、**ESGファイナンスのモデル事業**を実施します。
- ② 地域金融機関等を対象に**ESG投融資研究会(仮)**を開催します。



### SDGs 経営普及・啓発事業

市内中小企業等に対し、**セミナーなどの実施によるSDGs経営の基本的な知識の習得からSDGs経営相談等の実践までを一貫して支援**します。



### 月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。  
 川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書（麻生区・国会担当）等を経て、平成 23 年より川崎市議会議員。  
 現在 川崎市議会議員（麻生区選出、無所属、当選 3 回） 文教委員会委員 防災士  
 神奈川県カップ協会代表理事 NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長  
 神奈川大学川崎市宮陵会監事 三田学園同窓会東京支部幹事  
 川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 川崎白百合ライオンズクラブ 2017-2018 年度会長  
 五力田町内会地区長 麻生区白鳥在住 家族：妻（会社員） 趣味：KUBB（スウェーデン発祥のスポーツ）



### 月本たくや事務所

麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103  
 TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

月本たくや

検索

